

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710 WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報



会 長 木村 安伸
 会長エレクト夜船 正昭
 副 会 長 久藤 孝仁
 幹 事 堀越 賢二
 副 幹 事 佐々木秀明
 会 計 宮本 和彦
 S A A 市川 重雄

副 S A A 菅 義尚
 直前会長 荒谷 隆文
 管理運営 本庄 純夫
 会員組織 大成 義彦
 奉 仕 吉本きよ子
 広 報 三好 静子
 R財米山 藤中 保

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第一おおぎビル102号
 TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
 URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
 <例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑 TEL 0846-22-2970
 <例会日> 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 7月11日

各委員会計画発表

次週のプログラム 7月18日

クラブ管理運営委員会担当例会

【2013年7月4日 第2389回例会記録】

- ロータリーの目的: 木村会長
- ソング: 国歌・奉仕の理想

スマイルボックス

- 会員誕生日...市川
- 配偶者誕生...土居、宮本
- 事業所創立...本庄
- 100%出席...木村、久藤、堀越、佐渡、吉岡
市川、大森、梶谷、吉本、夜船、荒谷、土居、
小坂、佐々木
- 20年連続出席...本庄
- 15年連続出席...佐藤
- 10年連続出席...川本
- 就任スマイル...荒谷、木村、夜船、佐々木
吉本、本庄、市川、久藤、堀越、宮本、鴨宮、
金澤、川本、下山、中川、小坂、梶谷、大森、
土居、佐藤、佐渡、吉岡
- 特別スマイル

- ・2012-13年度が無事に終わりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。また新しい年度が充実した年でありますようお祈り申し上げます。(荒谷隆文)
- ・最多クライミング頂きまして、昨年何かあったかなと思ってます。今年度も少しずつスマイル、クライミング致します。(久藤孝仁)
- ・50周年委員長に就任しました。(本庄純夫)

記念日代表謝辞



7月記念日を代表して土居会員よりお礼の言葉が述べられました。

幹事報告

幹事 堀越 賢二

- ・例会終了後定例理事会を開催します。
- 《活動計画書訂正》
- P.11記載漏れ
- ニ. マルチプル準フェロー受賞者

会長の時間

会長 木村 安伸

遂に2013-14年度がスタートしました。私は、職責の重大さを重々感じ、6月のリハーサル月間には会長としての自覚と自信を確立させねばなりませんでした。今更ながら私のロータリーに於ける経験不足並びに力量の不足を噛みしめています。これから会員の皆様のお力添えを戴きながら、歴史と伝統を立派に育まれた歴代の会長、また当クラブに恥じぬよう最大の努力を出し切るべく最善を尽くします。次年度は、当クラブの輝かしい50周年が控えており、当年度は、その橋渡しの年度でもあります。

で、この1年間堀越幹事、市川SAA共々何卒ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

本年度の活動計画書をお手許にお配りしてあります。理事、役員、委員長のご努力のお蔭でございますが、それぞれの実行計画を是非共完遂して戴き、加えて更なるチャレンジにも立ち向かって下さるようお願い申し上げます。

6月27日（木）午前竹原市ふくしの駅にて開催された平成25年度第1回竹原市共同募金会審査委員会及び運営委員会に出席しました。なお、審査委員会は新たに平成25年度から設置され、その委員5名の中に当クラブも委嘱されたものです。

同じく、6月27日（木）午後竹原商工会議所にて開催された平成25年度竹原まつり協会役員総会に出席しました。なお、竹原まつり協会は、平成25年度から会則を改正し、業務が竹原商工会議所から（社）竹原市観光協会へ移管され、これと共に会長には同会の宮原会長が選任されました。

6月30日（日）～リフレッシュ～瀬戸内～の場海岸大掃除に多数の会員が参加されました。当日は天候にも恵まれ、作業はスムーズに進行し、あっと言う間に綺麗な海水浴場に仕上がりましたので、これから来場される海水浴客に大いに喜ばれることでしょう。参加されました会員の皆様ご苦労様でした。

本日は、この後会長のクラブ運営方針の発表となっておりますので、これを以って会長の時間を終わります。

委員会報告

□前年度社会奉仕委員会 委員長 佐々木秀明
6月30日(日)的場清掃が行われました。会員10名の方に参加頂きました。誠に有難うございました。また、大成会員の奥様、坂田・川本会員のお孫さんにもお手伝い頂きました。有難うございました。6月30日で社会奉仕委員会の全ての活動が終了しました。一年間のご協力有難うございました。



会長方針発表



会長 木村 安伸

本年度の『クラブ運営方針』をご説明申し上げます。

本年度のロンド・バートンRI会長は、RIテーマを『ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を』と掲げられ、第2710地区沖田哲義ガバナー

は、その信条として『奉仕活動を見直そう、「新しい奉仕活動への挑戦』とされました。

これは、各ロータリアンが、自分の身を修め、自分の実力を涵養し、ロータリーをしっかりと自分の中に取り込み、人生に反映させながら、ロータリーの奉仕活動の改革にチャレンジすることであると理解します。

当竹原ロータリークラブは、次年度に輝かしい創立50周年を控えております。私達は、今一度ロータリーの原点に立ち返り、“超私の奉仕”を実行しながらクラブの活力を充実させ、更なる発展に向けての礎となるべく、邁進しなければなりません。会員の皆様の十分なるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

私は、本年度のクラブ運営の重点目標を以下の項目と致します。

《重点目標》

1. 例会を活性化させ、楽しみながら会員一人ひとりが自分の役割を発揮しよう。
(毎例会の充実を図るために、各月の担当委員会は周到な準備を行なう)
2. 地元地域社会の新たなニーズを掘り起こし、奉仕活動・夢計画を強力に推進する。
(ロータリークラブが、地域社会の中で存在感を示せる奉仕活動を行なう)
3. 会員増強・維持に知恵を絞り、効果的なクラブとなるための取り組みを強化しよう。
(全会員が地域内を限なくリサーチし、人材の発掘に努め、入会に繋げる)
4. 創立50周年へ向けて全会員が情熱を注ごう。
(50周年記念実行委員会に全面的に協力し、50周年記念事業を成功させる)

以上でございます。この一年間会員の皆様のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

幹事方針発表



幹事 堀越 賢二

楽しくなければロータリーじゃないっ！

今年度は昨年度の良いところをもっと伸ばし、楽しい竹原ロータリークラブの運営に最大限の努力をし、一年間会長と共に頑張りたいと思っております。

会員の皆さんから、クラブに入って良かった、例会が楽しい、事業が楽しいと感じて頂けるよう、幹事としては勿論ですが一人のロータリアンとして、一生懸命努めて参りたいと思います。

全員出席は中々難しいですが、一回でも全員が揃っての100%出席を目指したいと思います。

しっかりと声を掛け合いながら楽しいロータリー活動を通じて、出席率の向上に努めてまいりたいと思います。

経験不足なことが多々ありますが、一年間頑張りたいと思いますので何卒宜しくお願い致します。

誕生日会員卓話



会員 市川 重雄

ロータリーの現状を紹介します。これは2013年4月30日現在の数字ですが、国際ロータリーには200の国と地域でクラブ数が34,216クラブあります。会員数は1,214,714人。

日本では1921年(大正7年)東京クラブが出来ています。R Iは1905年です。日本のクラブ数は2,293クラブ、会員数は88,497人です。当地区の2710地区は74クラブ3,280人です。こういった人数でいろんな活動をしているのがロータリーです。

ロータリーは職業奉仕が頭に浮かびますが職業奉仕の基本は先ず「4つのテスト」です。職業奉仕についての宣言にはいろんな変遷があります。一番新しいものでは、1989年にR I理事会で「職業宣言」が発表されました。

1989年、R I理事会は「ロータリー職業倫理訓」に代わるものとして、「職業宣言」を採択しました。内容は、反発の強かった黄金率に関する項目と、完全なアフター・サービスの項目を削除し、青少年や地域社会に対する技術提供と誇大広告の禁止を謳うことによって時代のニーズに適應したものとなっています。

<職業宣言>

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上、関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

1987年、R I 理事会は「職業奉仕に関する声明」を採択しました。

<職業奉仕に関する声明>

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

- 1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべてへの公正な取り扱いも含まれる；
- 2) 自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること；
- 3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、たびたび職業奉仕を実践してみせることによって、また、クラブ自身の行動に職業奉仕を生かすことによって、模範となる実例を示すことによって、さらに、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を實踐、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることである。(1987年R I 理事会)

自分の職業を通じていろんなサービスをすることが職業奉仕かと思っておりましたが、そうではないようです。職業奉仕、社会奉仕の違いが分りにくいと思います。先ほど紹介がありました的場清掃の件も、職業奉仕なのか社会奉仕なのか区別が難しいと思います。

ある本に、最近のロータリアンは汗をかく奉仕をあまりしなくなっているとありました。当クラブでも汗をかく奉仕が、年齢的に難しくなってきました。今の会員数、年齢層で、外での奉仕活動は無理がくるかなと思っています。

委員長さんには、出来るだけ地域のニーズにあい、クラブの環境にもあった奉仕が出来るような事業を推進していただければと思っております。

理事会報告（7月）

□日 時 平成25年7月4日（木）

□場 所 大広苑

□出席者 10名

□議 題

①女性ロータリアンの集いの件 承認

日 時 平成25年8月18日（日）

場 所 リーガロイヤルホテル広島

登録料 5,000円

②納涼例会の件 承認

日 時 平成25年8月22日（木）18時より

場 所 かんぼの宿竹原

登録料 会員5,000円 配偶者3,000円

③例会時間変更の件 承認

日 時 平成25年9月19日（木）18:30～19:30

④ロータリーの目的 幕購入の件 承認

⑤50周年実行委員会構成の件 承認

実行委員長 本庄 純夫

副実行委員長 佐藤 守幸

副実行委員長 川本 照夫

総務委員長 朝比奈勝也

式典委員長 菅 義尚

祝宴委員長 吉本きよ子

事業委員長 堀越 賢二

記念誌委員長 久藤 孝仁

羅東委員長 大成 義彦

会計 下山 生修

《報告事項》

- ・円山会員よりクラブへ40万円の寄附を頂きました。

《出席報告》

会員数 35名 出席 25名 メイク 2名

欠席 7名 免除 1名 出席率 80%